

ダンボール箱を使って 「生ごみリサイクル」

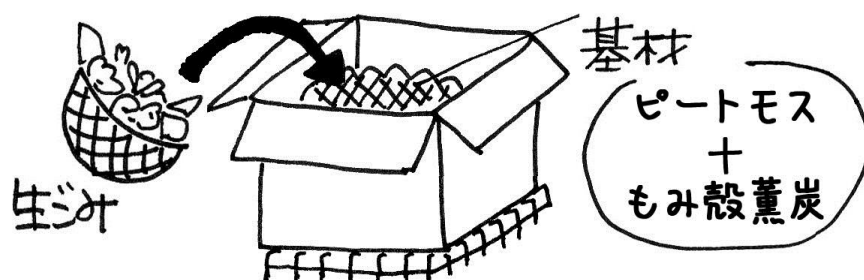
～ダンボールコンポスト講習会～

5月26日（土）
10時半～12時



会場：つくば・市民ネットワーク事務所
(つくば市二の宮 2-1-3 クラフトビル 1 階)

参加費：無料 (下記へお申込みください)



- 「ダンボールコンポスト」とはダンボール箱の中に基材を入れ、それに生ごみを加え、毎日まぜるだけで、生ごみが発酵し堆肥になるという「簡易生ごみ処理器」です。ベランダでもできます。
- 生ごみが“堆肥”に生まれ変わります。
できた堆肥の使い道がない方は松見公園の花壇などで使ってもらえます。
- 「ダンボール箱で?」「臭いはないの?」「できた堆肥ってどうなの?」
たくさんの“?”にお答えしつつ、実践を交えて方法やコツをご紹介します。
ぜひご参加ください。

※実際に始めてみたい方には、必要な基材を有料でお分けすることができます。

*申込み・お問い合わせは

主催：つくば・市民ネットワーク環境・ごみ部会

参加申し込み先 電話：029-859-0264 E-mail:tsukubahotnet@ybb.ne.jp

ダンボールコンポストを始めてみた方の声



ダンボールコンポストを始めてもうすぐ5年になります。
家族2人分の生ごみなので、ダンボール箱も3ヶ月以上使えています。
毎日500gの生ごみが出るとして、1年で $0.5\text{kg} \times 360\text{日} = 180\text{kg}$ 。
これだけの生ごみを燃えるごみに出さずにすんでいます。
生ごみを入れていても、ちっともカサは増えず、驚きです。
紙類をきちんと資源として出せば、殆どがプラスチック類のみ。
ゴミ袋も軽くてらくちん、ごみを出す回数が半分以下になりました。
ベランダでもできますよ～。

今までは、電気式の生ごみ処理機を使っていましたが、
市民ネットのごみ部会に参加して、
ダンボールコンポストの経験者の方から丁寧に教えていただく
機会があって、始めました。

電気式と比較すると状態が良いときは臭いも少なく、分解も早いです。
何よりも電気を使わないですむので、自信をもって環境によいことをしている気分になります。毎日、コンポストに生ごみを入れてかき混ぜていると、いろいろ発見があって楽しいですよ。

すいかやカボチャの種は生ごみが分解されても生き残っていて、そのうち芽吹いてもやしのように根もでてきます。子孫を残すかってすごいですね。

我が家のコンポストは外にいたので、いろいろの虫がわいてたいへんです。

初めのうちは蓋をとってかきまぜるのも恐くて挫折しそうになりましたが、その都度、
ごみ部会の先輩や仲間に“コツ”を教えてもらいながら続けています。

公園デビューしたころの子育てに似ている感じがします。いっしょに始めませんか？



生ゴミが毎日ダンボール箱の中に消えていくので、ほんとに助かってます。悩みは虫。ぬかを入れたり、廃油を入れたり。
でももう虫がいてもいいやと思ってます。

かき混ぜる時に、ほっこりした空気があがってくると『おっ、今日も元気やね～』と順調な発酵ににんまり(^_^)。

元気がなくなった時はちょっと蛋白質を足してみる。

腐ればゴミ、発酵すれば資源 — なので、

毎日せっせと生ゴミの変身介助をしているような気分～。

毎週40～60L出ていた燃えるゴミ — 今は2週間に1回40Lに減量！

凄いことが起きるものだ。毎日の密かな楽しみになっている。

